

集中力と気迫で勝負 空手道選手権大会県予選で準優勝

5月29日、第3回全九州少年少女・第16回全日本少年少女空手道選手権大会の県予選に、田島武道館所属の野中紗和さん（西合志中央小5年）が出場し、形の部で準優勝。上位2大会への切符を手にした。

その後、6月18・19日の全九州大会（宮崎県）では見事3位に入賞した野中さん。8月に控えた全日本大会（東京武道館）についても、「上位を目指して頑張ります」と意気込みを語りました。



真剣なまなざしで演武する野中さん（県予選会）

被災地で役立ててほしい 本田技研工業㈱からスクーター寄贈

5月26日、本田技研工業株式会社熊本製作所から市へ50ccのスクーター6台が寄贈されました。

同社は工場の被災により生産ができない状態となっていますが、在庫を集め5月上旬から益城町、南阿蘇村、熊本市など県内7つの希望市町村に計110台を贈りました。技師の篠野博さんは「被害調査など、被災して車が入れない場所の移動に活用してほしい」と話し、カギとヘルメットを市長に手渡しました。



市長と篠野さん。車体後部には「がまだせ!くまもと!!」シールが貼付されています

田んぼで遊ぼう どろんこフェスタ in 合生

6月18日、合生文化会館隣の田んぼで、合生地区地域づくり運営委員会が「どろんこフェスタ in 合生」を開催し、幼児から小学生まで56人が参加しました。

そうめん流しでお腹を満たした後、恐る恐る田んぼに入った子どもたち。泥の感触に慣れると、全身泥だらけになってリレーやサッカー、宝探しなどを楽しみました。生き生きとした笑顔の子どもたちに、魅力あるふるさとの思い出がまた一つ増えました。



ソリを使って3人1組で取り組んだどろんこリレー

おいしい牛乳を飲みませんか ちちの日に牛乳を贈ろうキャンペーン

6月16日、熊本酪農合志女性部、JA菊池合志酪農女性部などから市へ牛乳が贈呈されました。

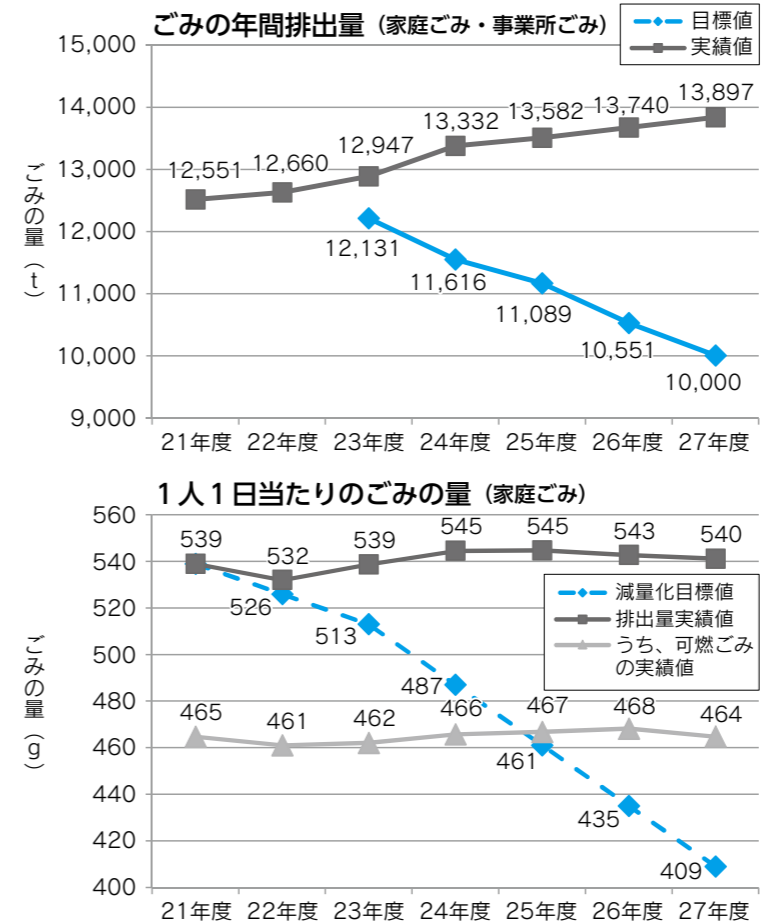
このキャンペーンは、牛乳が「ちち」と呼ばれることから、牛乳の消費拡大のため父の日の定番ギフトとして定着させることを目的とした活動です。西日本有数の酪農地帯である菊池地域で養殖し、全国各地に広がっています。酪農家の皆さんが、丹精こめて生産したおいしい牛乳を飲んでみませんか。



左からJA菊池合志酪農女性部 平井部長、熊本酪農合志女性部 島田部長、市長

環境 ENVIRONMENT 通信

問い合わせ先 環境衛生課(合志庁舎) ☎248-1202



本市では平成23年度にごみ減量化計画を策定し、ごみ減量20%を目標に取り組んでまいりました。平成27年度でこの計画期間が終了しましたので、その結果をお知らせします。

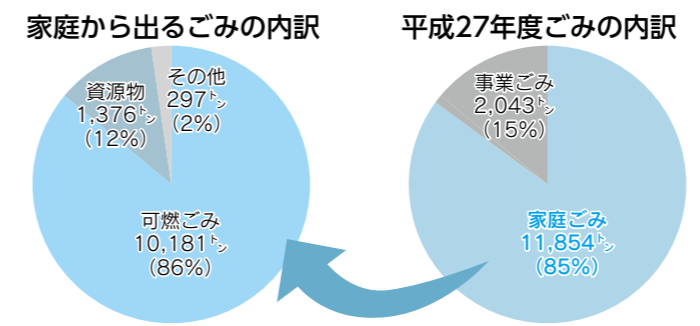
家庭から出る1人1日当たりのごみの量は、平成21年度は539gでしたが、昨年度は544g増えました。6年間で1g増加

し、平成21年度の実績を基準に定めた目標値409gを131g(卵約2個分)上回る結果となりました。

とはいえ、平成24・25年度をピークに、少しずつではありますが減少傾向が見られます。一人一人の積み重ねが結果につながります。

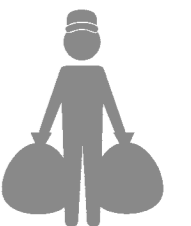
家庭ごみの86%は可燃ごみ。燃やすごみには、紙類などの資源物が多く混ざっています。資源物になるものは資源物の袋で出すか、地域の資源物回収団体に引き渡すと、ごみの減量につながります。

計画期間は終了しましたが、引き続きごみの減量にご協力をお願いします。



平成23~27年度
ごみ減量化計画終了

1人1日当たりのごみの量は
目標値を131gオーバー



●集合場所
上生川：沖田橋
塩浸川：JA上庄倉庫前
栄体育館

●ところ
上生川（中尾橋付近）
塩浸川（城戸内橋、江良橋付近）

●とき
7月23日(土) 午前7時～
※雨天中止の際は、防災無線でお知らせします。

「くまもと・みんなの川と海づくりデー」河川美化活動

有明海など海の環境悪化が社会問題となったことをきっかけに始まった活動です。県内各地で河川や海岸の清掃活動などが行なわれ、本市でも例年河川の美化作業をしています。皆さんの参加をお待ちしています。

「くまもと・みんなの川と海づくりデー」河川美化活動